

あなたの骨は大丈夫ですか？

**その症状、
骨粗しょう症
かも…**

背中が**曲がる**、腰が**痛む**、
背が**縮んできた**
等の症状は**骨粗しょう症**
のサインかもしれません。

骨折

**まず骨密度を
測りましょう！**



骨粗しょう症って？

骨粗しょう症というのは、骨が弱くなり、骨折の危険が高まる骨格の病気です。また、骨密度が減っていても、ほとんど自覚症状はありません。ただ骨粗しょう症がもとで骨折して初めて、痛みを感じたり、背中が曲がったり、寝たきりになったり、日常生活に支障を来し易くなります。早めの確認が必要です。



正常な骨の状態 骨粗しょう症でもろくなった骨の状態
※こちらのイラストはイメージです、実物とは異なります。

予防・治療できるの？

- 現在、予防・診断や治療のための技術や治療薬が進歩しています。
- 早い段階で骨密度の状態を把握することで、良い効果が上げられてきた実績があります。

どうすればいいの？

- まず、問診や骨密度測定を行い、骨密度を把握しましょう。
- 骨折すると日常生活に影響を与える腰椎や大腿骨の骨密度を測定します。
- 骨密度測定には微量のX線を用います。骨密度検査で受ける被ばくは胸部X線検査より少ない量です。
- ベッド上に仰向けで10分ほど寝るだけで、痛みはありません。



骨密度測定装置